

WEEKLY REPORT

事務局：460-0003

■名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

T E L : 052-211-3803

F A X : 052-211-2623

M A I L : 2760@nagoya@mizuho-rc.jp

U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)11月10日

会長：森 裕之

幹事：村上 学

クラブ広報委員長：渡邊 将之

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2026-27年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーで素晴らしい体験をしよう、そしてより強い、より良いロータリーをつくらう」

2026-27年度

国際ロータリーのテーマ

持続可能なインパクトを生み出そう

第2177回例会

～母子の健康月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2026年7月2日(木) 晴 第1回 会長挨拶

司会：村瀬俊高 会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：株式会社三和不動産 取締役社長 杉本泰洋様
名古屋瑞穂RC名誉会員バストガバナー 近藤雄亮様

会長挨拶

森 裕之 会長

皆さん、こんにちは。本26-27年度の第48代会長を務めさせていただきます、森裕之でございます。亀井前会長、鳥山前幹事に置かれましては一年間ご苦勞様でした。今後ともよろしくご指導ください。

私はロータリー歴はまだ12年と決して長い訳ではなく、ロータリーに関してはまだまだ全てを理解しておるとは言えませんが、精一杯瑞穂ロータリーの為に努めさせていただきます所存ですので、よろしくお願いいたします。

2024年の11月某日に、24-25年の大嶽会長から突然お電話をいただきまして、26-27年の会長に推薦されましたので、本日午後から推薦委員会に出席して受諾のあいさつをするようにとお話を頂戴いたしました。冷静なお言葉による「晴天の霹靂」でありました。

たまさか私は出張中で、東京から空路福岡に向かうところでありましたので、頭の中が混乱する中で「とても今日は出席できません」とお伝えしたところ、ではメールで結構ですから急承諾の言葉を送ってください。とおっしゃられましたので、搭乗口待合室でフライト時間の迫る中、懸命にショートメールを打ち送信させていただきました。その後「承認されましたので、よろしく申し上げます」とお返事を頂戴するまでの、福岡までの搭乗時間が、いっなくな長い時間に思われました。

わたくしの父は1989-1990年度に第11代の会長を務めさせていただきましたが、37年後に図らずも私が、名古屋瑞穂ロータリー会長を仰せつかることとなりました。

12年前に瑞穂ロータリーに入会した際に、インシエーションスピーチをさせていただきました。予定したスピーチが半分ほど進んだとき、会場の「ワン・オー・ファイヴ」の後ろのほうから一言、「おー、早く終われよ!」と、一人のチャーターメンバーの方から「愛の鞭」が飛んできました。その声は「ワン・オー・ファイヴ」のホール全体に響きわたりました。瞬間、凍り付きましたが何とかスピーチは最後までさせていただきました。その一言が、現在のロータリアンとしての私を作っていたのだと、考えております。

父が会長を務めさせていただいた時は64歳でありましたが、私は今日現在71歳、来月で72歳であります。いささか当の立った会長であります、何とか鞭打って誠心誠意努めさせていただきますので、一年間よろしくお願いいたします。

幹事報告

- 7/9(木) (入会式・会長エレクト卓話) 例会 12:30～
ヒルトン4F「桜の間」
13:40～第1 回理事会・第1 回クラブアッセンブリー
ヒルトン4F「美杉の間」
- 7/16(木) R規定により休会

バッジ伝達式



亀井直前会長から森新会長へ、鳥山直前幹事より村上新幹事へのバッジの伝達が行われました。

出席報告

横山 請悟 出席副委員長

会員71名 出席55名 (出席計算人数59名)

出席率83.33%

ニコボックス

横山 請悟 ニコボックス副委員長

- 亀井会長お疲れ様でした。ご苦勞様。森会長、お身体ご自愛され、頑張ってください。 近藤 雄亮さん
- 本日より、26-27年度 第48代会長を務めさせていただきますので、よろしく願います。 森 裕之さん
- 一年間よろしく願います。稲葉さん、ようこそ瑞穂RCへ 村上 学さん
- 森会長、村上幹事一年間お世話になります。今月は私の誕生日です。 渡辺喜代彦さん
- 森会長、村上幹事 一年間お世話になります。 山口 哲司さん
- 先日は歓迎会をしていただきありがとうございました。ご設営いただきました鈴木淑久様、関谷様、ご参加いただきました、村瀬様、花井様、本多様、杉江様、押村様ありがとうございました。 盛田 一行さん
- 森会長、湯澤副会長、村上幹事 門出を祝して 亀井 直人さん
- 今日より、新年度です。森会長以下役員の皆さん一年間頑張ってください。 泉 憲一さん
- 森会長これから一年間よろしく願います。 松波 恒彦さん
- 森会長、村上幹事、本年度もよろしく願います。本日脳ドック受診しました。頸動脈狭窄がありますが、元気です。 岡部 光邦さん
- 森会長、湯澤副会長、村上幹事、理事、役員皆様の一年間の無事渡航をお祈りして。 稲葉 徹さん
- 森会長、村上幹事、一年間よろしく願います。微力ながらお二人を少しでもお支えできるよう頑張ります。また、亀井直前会長、鳥山直前幹事お疲れ様でした。 湯澤 勇生さん
- 妻のお誕生日に素敵な花をありがとうございました。今日より小木曾仁さんが入会されます。皆様どうぞよろしく願います。 加藤 直大さん
- 今日から小木曾さん、古賀さんが入会されます。皆様どうぞよろしく願います。 水谷 幸康さん
- 先日、盛田さんの歓迎会に参加させていただきました。これからよろしく願います。 押村 宣弘さん
- 森会長、村上幹事一年間よろしく願います。
堀 慎治さん 長瀬憲八郎さん 伊藤 豪さん 湯澤 信雄さん
関谷 俊征さん 鳥山 政明さん 長谷川 隆さん 大嶽 達郎さん
今川 知也さん 鈴木 雄三さん 松田 浩孝さん 鈴木 淑久さん
新見 光治さん 昌孝さん 本多 誠之さん 原田 敬生さん
杉江 建亮さん 近藤 茂弘さん 渡邊 将之さん 水谷 学さん
長野 義明さん 村瀬 俊高さん 杉山 裕一さん 横山 請悟さん

新会員入会式

新会員：稲葉大佐さん 古賀照平さん 小木曾仁さん



稲葉大佐さん

皆さんこんにちは。まずは本日ご参加いただいておりますメンバーの皆様、そして事務局の皆様、本当にありがとうございます。私は市内で保険業を営んでおります稲葉大佐と申します。どうぞよろしく願います。ロータリーの活動におきましては、右も左も分からない若輩者ではございますが、楽しいロータリーライフを送りたいと思いますので、皆様どうぞよろしく願います。

古賀照平さん皆さんこんにちは。平野からの引き継ぎで今回瑞穂ロータリークラブへ入会させていただきました。ロータリーの右も左もわからない状況ですが、これからのいろいろ覚えていて、皆様とたくさん時間を分かち合いながら、クラブ活動に参加させていただければと思いますので、どうぞよろしく願います。

小木曾仁さんこの度は、伝統と品格のある名古屋瑞穂ロータリークラブに入会を承認いただき、誠にありがとうございます。私の仕事は病院のベッドサイド、アメニティのレンタル事業とセキュリティ事業FBIという事業を展開しております。趣味はゴルフですが、皆さんに揉んでいただきたいという熱意ですので、どうぞゴルフもロータリーもご指導いただければと思います。よろしく願います。

皆さんこんにちは。今日朝起きたら土砂降りでしたけど、さすが雨も上がっており、森会長持ってみます。森会長、湯澤副会長と村上幹事を見てみるとすね、水戸黄門と助さん角さんのような感じがします。きっと瑞穂ロータリークラブを良くしてくれと思いますので、よろしく願います。森年度を祝してまた会員の皆さんのご健勝を祈念しまして、乾杯したいと思います。乾杯!!

卓 話

森 裕之 会長

皆さん改めましてこんにちは。会長挨拶をさせていただきましても、本日は恒例によりまして、最初に国際ロータリーの今年度会長紹介と会長メッセージをお伝えします。2026-27年度の国際ロータリー会長は、オラインカ・ハキーム・ババロラ氏であります。ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブ所属で、2026年7月1日に国際ロータリー会長に就任されました。ババロラ氏は、エンジニア・経営コンサルタントであり、石油・ガス業界で約25年間勤務し、その後、関連インフラ企業と組織変革コンサルティング企業を創業されました。ロータリー歴は、1984年にロータリークラブ活動を開始、1994年にトランス・アマディ・ロータリークラブへ入会、2019-20年度国際ロータリー副会長に就任され、ポリオ根絶活動「End Polio Now」やナイジェリアのポリオプラス委員会で長年リーダーシップを発揮されました。「Service Above Self(超私の奉仕賞)」ならびに「Regional Service Award for a Polio-Free World」「ロータリー財団功労表彰」受賞、長年、平和構築や地域社会の発展に取り組まれてきました。

なお、当初2026-27年度会長エレクトには韓国・ソウルのセ・ハニヤン(Sae Hanyang)ロータリークラブ会員の、実業家で奉仕活動家であられたSang Koo Yun氏が選出されていましたが、健康上の理由により退任されたため、国際ロータリー理事会がババロラ氏を新たに選出いたしました。なおSang Koo Yun氏は2025年に辞任された後、同年9月に75歳で残念ながら逝去されました。

2026-27年度国際ロータリー会長のメッセージ(Presidential Message)は、「Create Lasting Impact(永続するインパクトを創る)」です。これは2026年1月に次期会長の オラインカ・ハキーム・ババロラ氏によって発表されました。ババロラ会長は、ロータリーの活動は単なる奉仕プロジェクトの実施にとどまらず、地域社会に長期的な変化をもたらすクラブをより歓迎的で魅力的な場所にする こと 会員自身もロータリーを通じて成長・変化することが重要だとされ「私たち自身が変われば、地区を変えることができる。地区が変われば、地域社会を変えることができる。そして地域社会が変われば、世界を変えることができる。」と語られ、3つの重点を強調されています。

＜ババロラ会長が強調する3つの重点＞

より歓迎されるクラブづくり 若い世代や多様な背景を持つ人々が参加しやすい環境をつくる。

持続的な成果を生む奉仕活動 一時的な支援ではなく、教育・保健・平和構築など長期的な変化につながる事業を推進する。

会員自身の変革 ロータリーが地域を変えるだけでなく、会員一人ひとりの人生や価値観にも良い影響を与えることを認識する。

このメッセージは、国際ロータリーのビジョン声明である、「私たちは力を合わせて行動し、世界と地域社会、そして自分自身に持続的な変化を生み出す」という考え方を具体化したものと位置付けられています。ババロラ会長は「世界や地域社会への変化だけでなく、「自分自身への変化」にも目を向けてほしい」と呼びかけています。

そしてロータリーの今後の活動方針や会員の行動指針として、5つの最も重要なポイントをあげられています。

1. 多様性と受け入れの重要性 ロータリークラブは、若者や異なる背景・考え方を持つ人々を積極的に受け入れ、誰もが歓迎される雰囲気を作ることが重要です。閉鎖的な態度は新しい会員の獲得を妨げるため、オープンな姿勢が求められています。

2. 会員増加の目標 2030年のロータリークラブ125周年までに、会員数を125万人、ロータリーアクターを12万5千人に増やすという具体的な目標が設定されています。すべての会員がこの目標達成に向けて努力する必要があります。

3. 持続的なインパクトの創出 ポリオ根絶やロータリーピースセンターの活用など、世界規模で持続的な社会的インパクトを生み出すことが強調されています。地域社会でも教育や医療などのプロジェクトを通じて長期的な変化をもたらすことが求められています。

4. 自己変革と成長の推進 会員一人ひとりが過去の成功を振り返り、それを越えることを目指して自己変革に取り組むことが推奨されています。個人の成長がクラブや地域社会全体の変革につながります。

5. 成果だけでなくインパクトに注目 変化(Change)とインパクト(Impact)は異なり、インパクトこそが長く続くものであると強調されています。単なる成果ではなく、地域や世界にだけだけ持続的な良い影響を与えられるかに注目が大切です。

続きまして国際ロータリー第2760地区ガバナーの紹介と地区方針の発表をさせていただきます。国際ロータリー第2760地区の2026-27年度ガバナーは、名古屋東ロータリークラブ 所属の國府谷俊盛(こうのや としもり)氏です。國府谷氏は1962年生まれ(64歳)で、学校法人 名古屋旭学園(名古屋市瑞穂区)の理事長を務めておられ、「旭 Kindergarten の丘幼稚園」の園長も兼任されています。また公益社団法人名古屋市私立幼稚園協会の 代表理事(会長)でもありました。

名古屋東ロータリークラブ に2007年に入会、ロータリーアクター他委員長・地区スタッフ・幹事・副会長を務められ、2024-25年度の名古屋東ロータリークラブ会長であります。また地区委員の経験も豊富でらっしゃいます。以下、國府谷ガバナーの地区方針を要約させていただきます。

＜2026-27年度地区方針＞

「元気で なかよく 楽しく そして高潔に」～新たな視点からの挑戦～
国際ロータリー第2760地区の全てのロータリアンが「元気で」ご自身の職業を全うされることを願います。そして、ロータリーの仲間をはじめ、企業内そして地域の方々と親睦を深め「なかよく」過ごされ、ご自身の思い、所属されるロータリークラブの思いを具現化する奉仕事業に「楽しく」参加される事を願います。こうした思い、行動に「高潔さ」を付加することがロータリークラブ、ロータリアンの姿と考えます。

「2026-27年度RI会長メッセージ」

オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は「持続可能なインパクトを生み出そう(CREATE LASTING IMPACT)」のメッセージを発信され、前年のメッセージ「よいことのために手を取りあおう(UNITE FOR GOOD)」を確実に継承、進化されました。私たちが取り組む奉仕活動や会員増強、その他多くの事業は、次世代に継承されなければなりません。ロータリーがもたらす個人のより良い変容が、今までの自分を超越した時、それがロータリー活動のさらなる発展、活性化につながります。

「職業奉仕」

ポール・ハリスにより高潔性、親睦などの理念が掲げられ創立されたロータリーは、A.F.シェルドンの提唱した「職業奉仕」の理念を得て日本に伝播いたしました。ロータリーにおいての「職業」は「VOCATION(天から与えられた使命)」と解釈し、これを達成することによって社会に貢献することが「職業奉仕」であります。自らの職業をとおして社会貢献することがロータリアンの第一歩であります。中核的価値「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」そして「4つのテスト」ロータリアンの精神基盤であり、職業奉仕のバックグラウンドであります。「日本の子供たちのために」子供が幸せに生きていくための大切なルール、「子供の権利条約」を日本は

批准しています。しかし日本の子供たちの環境の現状は惨憺たるもので、環境の悪化は自殺数の増加に比例しています。この現状をご理解いただき、各クラブでの奉仕活動に子供たちへの支援をとりいれてください。

「クラブの活性化・会員増強」会員増強はクラブの活性化が目的であり、増強はその為の手段ではありますが目的ではありません。とは言え会員数が減少すると、クラブの疲弊が進むことは自明の理で積極的な増強対策が必要です。特に女性会員の増強が喫緊の課題です。クラブの歴史・個性を尊重しつつ、増強に関する多くのリソースを活用することを地区とともに進めていきましょう。

「青少年、職業人の育成と平和構築」地区予算の80%は青少年などの人材育成に充てられています。IAC、RAC、青少年交換留学、RYLAセミナー他、日本独自の米山奨学金などの各種クラブ、各制度のさらなる発展を目指します。今年度、7つの重点分野以外の研究に対する新たな留学生補助制度も立ち上がります。世界の架け橋となる人材育成に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

「戦争について」戦争を終わらせることがどれだけ困難か、元名古屋東ロータリークラブ会長の、真木昭さんの訳本のあとがきの一文にこうあります。「いかなる状況下でも戦争という解決策を選ばない」と決意しましょう。

「ロータリー・ドネーション・フェスタ(RDF)」あらたな形のフェスタにて二つの目的を持ったドネーション活動を企画運営します。ポリオ根絶がロータリーの最優先事項であることはいまや多く、最優先事項として最後の一押し(LAST MILE)完遂し、監視活動(SURVEIL-LANCE)を継続します。子どもたちの現状を直視し、集まった資金をポリオ根絶と、日本の子どもたちの支援に充当します。

「ドネーション精神の基本」ロータリーの精神のひとつは「I SERVE」です。それぞれの考え方、立場、経済力を考慮し「I SERVE」。これが原点です。第2760地区のロータリアンとして下記の年次基金への寄付をお願いします。年次基金150ドル、ポリオプラス基金30ドル、恒久基金20ドル。

「クラブ奉仕」ロータリーの原動力は「親睦」であり「親睦活動」が職業奉仕の原動力となります。クラブを愛し、会員同士の親睦を深めること、オープンでホスピタリティの高い雰囲気づくりが、ご自身とクラブの成長につながります。「クラブ奉仕」が、身近で行動しやすいロータリー活動です。

「危機管理」(法令遵守(CONPLIANCE))は4つのテストを精神基盤に掲げるロータリアンにとって当たり前のことです。多様な人々との関りが奉仕活動を広げる中で、危機管理の徹底は極めて大切なことです。ロータリーにおいて危機管理を語るとき、関心の多くがクラブの存続や会員資格の維持などですが、忘れてならないのは被害者の心身のケア、保身です。各種のハラスメントは、生涯にわたるトラウマになるということを、あらためて認識してください。

「最後に」人間は多くの過失をおかし、私たちも日々様々な過失を犯しています。こうした過失を償うために、私たちロータリアンは無意識に奉仕活動をしているのかもしれませんが、「バツフライ・エフェクト」という言葉があります。私たちの奉仕活動、ドネーション活動は地球規模で俯瞰すれば、蝶の羽ばたきにも満たないかもしれませんが、しかしその羽ばたきが、大きなインパクトを世界に与えることを信じましょう。「持続可能なインパクト」を生み出そうではありませんか。誇り高きロータリアンとして、高潔性をもって共に活動しましょう。

最後に、瑞穂ロータリークラブ会長として、私の会長方針についてお話をさせていただきます。

本年度の会長方針として「**瑞穂ロータリーで素晴らしい体験をしよう、そしてより強い、より良いロータリーをつくらう**」を掲げさせていただきます。瑞穂ロータリークラブは会員相互の親睦活動も大変活発で、ホスピタリティに大変あふれたクラブと私は思っております。ロータリーでは「I SERVE」の精神のもと、様々な親睦・奉仕などの活動が行われていますが、瑞穂ロータリーでは会員皆さんのお力により大変に充実した活動が行われ、クラブの活性化ははかられております。また会員増強も着実に図られ、若い会員のかたも増えられて、世代間の交流も大変活発に行われております。そこで更に充実したロータリー・ライフを楽しみ、このクラブを発展させようとして、以下の活動方針を掲げさせていただきます。

＜活動方針＞

1. 会員増強にさらに努め、瑞穂ロータリーを益々活性化しよう!ロータリーの活性化にとって会員の増強は必須であります。多様性と拡大化を着実に推し進め、クラブを発展・進化させましょう。

2. 積極的に例会出席しよう、ロータリー行事に参加しよう!例会参加はクラブの活動の根幹です。お互いが顔を合わせて相互理解を深め、クラブの発展に力を合わせましょう。ロータリー行事への参加も、親睦を深める最大の機会ですから積極的に参加しましょう。

3. 先輩会員と交流を深めお話を聴き、自己研鑽に努めよう!ロータリーの最大の長所は、世代を超えて相互理解を深められるということです。その機会をロータリーは無償で与えてくれます。そのことは人生に新鮮さと深みをもたらしてくれます。

4. ポリオ根絶まあとわずか、引き続きポリオ根絶に力を!ポリオ根絶は、世界中すべてのロータリー会員の悲願です。RI会長も地区ガバナーも同じ決意であります。根絶の時は近づいています。頑張りましょう。

5. クラブ創立50周年を意識して活動しよう!3年後には瑞穂ロータリーは50周年を迎えます。クラブ創立に力を尽くされたチャーターメンバーと、先輩会員の皆さんの思いを引き継ぎ、更に瑞穂ロータリーが立派なクラブになるべく、50周年をジャンピングボードにする準備をしましょう

6. 友好ロータリークラブ(福岡西ロータリー、台北延平ロータリー)との交流をさらに深めよう!福岡西ロータリーと台北延平ロータリー、南ロータリーとも素晴らしいロータリアンの方々がたくさんお見えになります。これまでの素晴らしい交流に感謝し、そしてこれまで以上の素晴らしい関係を両ロータリーと築きましょう

7. 危機管理を考えよう!ロータリーを取り巻く環境も、日々刻々変化しています。一般社会においても危機管理は非常に重要になっていきます。地区においても危機管理セミナーは活発化していますので、われわれも他山の石としないようにしましょう。

8. 世界大会に参加しよう!27年の世界大会はスペインのバルセロナで開かれます。積極的に参加して世界のロータリアンと交流する機会を作りましょう。以上が私の会長方針ですが、新役員、委員のみなさん、そして理事のみなさんのお力と、会員すべての方々のお力もお借りして、一生懸命この素晴らしい瑞穂ロータリークラブを一年間運営してまいりますので、今後のご協力、ご叱咤をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

例会のご案内

■今 週 7月9日 (木) 会長エレクト卓話
場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間: 12:30～13:30

■次 週 7月16日 (木) R規定により休会

■次々週 7月23日 (木) 第1回クラブフォーラム(決算・予算)
場 所: ヒルトン名古屋4F 「竹林の間」
時 間: 12:30～13:30